令和元年９月度理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．**招集年月日**　令和元年８月１９日（月）
２．**開 催 日 時**　令和元年９月１２日（木）　１４時１５分～１６時００分
３．**開 催 場 所**　駐健保会館　４Ｆ　中会議室　［東京都港区芝３－４１－８］
４．**理 事 総 数**　２２人
５．**監 事 総 数**　３人
６．**出席理事数**　１９人（本人出席１９人）
７．**出席監事数**　２人（本人出席　２人）
８．**出席理事の氏名**

嶋崎 利行、原田 政吾、竹内 博次、曽根 光彰、南　直樹、齊藤 基樹、大屋 和雄、伊藤 雄平、宗村 進之介、秋山 正稔、山田　毅、田村 大輔、横山 聡洋、藤田 亮則、後藤 章洋、小澤 恒夫、富居 博治、玉木 寛之、安室 篤志

９．**出席監事の氏名**

池田 隆久、川村 道夫

１０．**出席組合員の氏名**

出席組合員はいない

１１．**議長の氏名**

嶋崎 利行

１２．**決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名**

該当する理事はいない

１３．**議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）**

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、嶋崎理事長が議長となり開会を宣した。

第１号議案　組合員及び賛助会員の増強について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、資料に基づき、組合員の平成６年からの変動と賛助会員の平成８年からの変動について説明があった。現在、組合員８３社、賛助会員４８社。

嶋崎議長から、組合員と賛助会員の増員について、各理事に各１社の紹介をお願いしたい旨述べられ、この２年間、強い気持ちを持って、大屋前理事長からの目標である組合員１００社加入を達成したいと述べられた。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第２号議案　第６回経営懇話会について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長は、前回の理事会で行うことになった経営懇話会に関するアンケート調査結果について資料に基づき、報告があった。回答率が２８．９％と低かったことも報告があった。

齊藤理事と大屋理事から、経営懇話会の立ち上げ時から現在までの主旨について説明があった。

嶋崎議長から、一度見直しをして検討して行きたい旨述べられ、意見が求められた。

伊藤理事から、他社や熱処理を行っている異業種などを見ることは、参考になるので、これまで通り工場見学をメインで開催して欲しい。

横山理事から、同業種の工場を見学するのは勉強になるが、抵抗があるのも理解できる。諸先輩方と懇親を深めるのは重要だと思うので、内容を検討して継続して欲しい。

後藤理事から、回答率の低さから、参加されない組合員の意見を聞く必要があるのではないか。

齊藤理事から、アンケートが代表者に必ず届くようにする必要がある。

嶋崎議長から、アンケートの取り方を含めて再度検討することとし、継続審議することで、議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第３号議案　組合からの情報伝達について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から総務委員会で過去に行った資料に基づき、組合からの情報伝達について説明があった。

島崎議長から、ペーパーレス化や情報化を集約する方向にして移行期間を設けてFAX配信を止めて行きたい旨述べられた。

田村理事から、日本金属熱処理工業会で行ったようにアンケート調査を行う必要があるとの意見があった。

大屋理事から、宛先に個人名を入力して送る必要があるのではないかと意見があった。

島崎理事から仕組み作りから検討して行きたい旨述べられた。

原田副理事長から、この機会に各社に調査する必要があると述べられた。

嶋崎議長は、組合として取り組んで行くことについて議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第４号議案　東京工業大学 製造中核人材育成講座について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、資料に基づき、昨年４月からスタートした第６期について説明があった。

来年度から始まる第７期に向けて、東京工業大学より、定員２０名に対して最低１８名以上の申込がないと実施しないと明言されていることの説明があり、組合で最低でも１５名確保して欲しいと言われており、現在参加見込数１１名と達していないことの報告があった。

嶋崎議長より、今まで派遣されていない組合員企業に参加していただき、途切れることなく、続けて行きたい旨述べられた。

嶋崎議長は、継続して行くために推進することについて議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第５号議案　１２月例会及び新年賀詞交歓会の講演会講師について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、東京都中小企業団体中央会の支援事業を活用している関係で、１２月例会と新年賀詞交歓会の際の講演会の講師について相談し、講師を推薦いただいたことの報告があり、候補者について説明があった。

１２月例会［令和元年１２月４日（水）、浜松町東京會舘］
講師：株式会社リクルートジョブズ　ジョブズリサーチセンターセンター長
宇佐川 邦子 氏
新年賀詞交歓会［令和２年１ 月２１ 日（火）、東京グランドホテル］
講師：大阪商業大学・大学院　総合経営学部　経営学科
教授　小川 正博 氏
嶋崎議長は、講演会講師について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第６号議案　各委員会活動状況について

嶋崎議長の指名により、玉木理事から、８月２２日に開催された第２回 BCP 推進 WG について議事録に基づき、説明があった。主な内容としては、①参加企業に作成支援ツールを配布し、年内策定を目指し取組んでいること。②連携型の組合 BCP を策定について③有限責任監査法人トーマツと第１回目のハンズオン支援を受けること。

続いて曽根副理事長から、８月２７日に青年部会の正副部会長（田村部会長、横山副部会長、山田副部会長）及び事務局で関東経済産業局製造産業課に伺い、意見交換を行ったことの説明があり、今後の協力体制について意見交換（将来に関する情報や補助金の情報などの提供や業界の課題解決など）を行ったことの報告があった。また、１０月８日開催予定の第２回青年部会の内容について説明があり、製造産業課にはオブザーバー出席をお願いしていることの報告があった。

嶋崎議長の指名により、原田副理事長から、９月６日に開催された令和元年度第２回総務委員会について、議事録に基づき説明があった。主な内容としては、①新委員が加わり、８名体制になったこと。②組合 HP のリニューアルについて、イントラックスシステムズ㈱伊東社長に同席いただき、リニューアル提案について検討した。組合員検索については、日本金属熱処理工業会のシステムをベースにすることが提案されたが、「組合員及び賛助会員のデータ管理」が日本金属熱処理工業会と各組合が違う管理をしている点が課題となり、日本金属熱処理工業会で検討が必要なことの説明があった。

山田理事から組合員専用ページの作成と情報提供について質問があり、原田副理事長より、組合員ページを計画していることとその他予算内でできることは実行したいことの説明があった。

玉木総務委員長から、組合員の増強と情報の提供を主目的に HP のリニューアルを検討していることの補足説明があった。

第３回技術・品質合同委員会については、議事録の準備ができていないので、次回行うことになる。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第７号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室事務局長から、資料に基づき、下記について説明と報告があった。

・９月１日実施した金属熱処理技能検定試験について
・大屋理事が東京都功労者表彰（産業振興功労）を受賞されることの報告があった。
・組合で保有しているテキストや組織写真などについては、今後も継続して使用できるように著者または作成者と書面等で対応して行きたいことの説明があった。
・組合員・賛助会員の異動について（令和元年５月～８月）

・東海大学 SAS 設立３０周年講演会について［令和元年１１月１５日（金）］

続いて東京都中小企業団体中央会の常任理事の大屋理事より、１１月７日の中小企業団体全国大会提出議案について資料に基づき、説明があった。

齊藤理事から、第４０回日熱会［令和元年１０月２日(水)、３日(木)、北海道］について説明があった。嶋崎議長から齊藤理事及び池田監事に謝辞が述べられた。

続いて一般財団法人全国中小企業共済財団の植野課長より、資料に基づき、「金属熱処理業あんしん保険」等について説明があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和元年９月１２日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　嶋崎 利行　㊞

出席理事　原田 政吾　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　曽根 光彰　㊞

〃　南　直樹　㊞

〃　齊藤 基樹　㊞

〃　大屋 和雄　㊞

〃　伊藤 雄平　㊞

〃　宗村 進之介　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　山田　毅　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

出席理事　後藤 章洋　㊞

〃　小澤 恒夫　㊞

〃　富居 博治　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　安室 篤志　㊞

出席監事　池田 隆久　㊞

〃　川村 道夫　㊞